

### エビネ

4月といえば

桜がまず思い浮かびますが、他にもたくさんさんの花のシーズンでもあります。

私が一番に思い浮かぶのは、エビネという花です。茎の形が海老のようにそっていることが名前の由来で漢字では海老根と書きます。ラン型の小型の花を咲かせ、花色は様々なバリエーションがあることで知られています。

まだ私が小学生のころ、春になると家の庭に父が育てていたエビネがたくさん咲いていたのを覚えています。私が生まれた年に植えて、ずっと繁殖させてきたのだと聞きしました。今では引越してしまし、また私も社会人になって家を出たので、春になって庭に咲くエビネを見ることはなくなりました。

それでも、春になると、私は毎年エビネを思い出し、子どもが生まれたら、きっとその年に何かを植えてあげようと、そう思います。

言語聴覚士 伊藤七海



## 特集『胃瘻』第3回「どう考える?? 胃ろう」

これまで2回にわたって胃ろうのお話をしてきました。そうした中、もし自分が口から食事ができなくなったらどうするか考えてみましたか？

胃ろうを「つくるか?」「つくらないか?」、もちろんすぐに答えが出るわけではありません。世の中だってマスコミや、国会議員、研究者などが議論している難しい問題なのです。

例えば、自分の意思表示ができない場合だれが判断すべきか? 胃ろう造設後の介護負担をどのように軽減していくか? また、胃ろうは本当に延命につながっているのか? など様々な問題が挙げられるでしょう。

しかし、私個人は、最近の社会情勢が「胃ろう=悪」ととらえているのではないかと強く感じます。これは、嚥下障害は治りにくく、どのように対応したらよいか分からない、ということも一つの要因なのでしょう。

そこで、当苑での取り組みを簡単に紹介させていただきます。まず、医師の指示により言語聴覚士がお口の機能をみます。その後、必要に応じて歯科医師が嚥下内視鏡検査や義歯調整などを行います。管理栄養士は嚥下困難者支援食の考案、調理師は食べやすい食事の提供、看護師は服薬管理と飲みやすい薬への調整を行います。また、介護職は食事介助と

口腔ケア、食事前の嚥下体操の実施などを行っています。食事場面では、理学療法士や作業療法士が姿勢の調整や自助具の選定などを行います。胃ろうを造設しても希望を持って安心して過ごせるよう、また最期まで食べる楽しみを提供できるよう、職員が一丸となって取り組んでいます。

さて、話は戻って胃ろうの問題をどう考えるか? です。

「自分の意思を書面に残しておくこと」が大切だと私は考えます。もし、家族が胃ろう造設を迫られたとき、口では本人が「胃ろうは作らない。」と言っているにもかかわらず、その意思が形として残ってなければ家族としては「かわいそうだから…」と判断に迷ってしまうでしょう。

ですから、胃ろう造設を希望してもしなくても、しっかりと書面に残し、いまできることに備えておく必要があります。自分だけでなくもちろん家族にも…(これがデリケートな問題なのでなかなか難しいのですが…)。

この機会に皆様も胃ろうについて話し合ってみてはいかがでしょうか。

文責 言語聴覚士 末岡 広光

参考文献

Core Ethics Vol. 8 (2012) 論文

「PEG (胃ろう) 問題—認知症高齢者へのPEG の適応について」仲口路子



# チーム紹介⑨ 3階



こんにちは3階フロアです。待ちに待った春がやってきました。もうお花見にはいらっしまいましたでしょうか？

街には花粉が飛び交い、3階には笑い声が、飛び交っております。

3階フロアは、レクレーションなどを通して積極的に体を動かし、在宅復帰を目的とする自立支援棟です。

今後も利用者様に快適に楽しく過ごして頂けるよう、職員一丸となって取り込んでまいります。

3階では皆様にも少しでも楽しく過ごして頂くために、学生服を着てスタッフ紹介をしました。

阿部課長



## あおやぎ学園 3組 紹介



## リハビリ室から

午後のひとときはテーブルに集まって作業療法の時間。熱心に手を動かす

利用者様の姿がみられます。進め方がわからなくなったり、糸が引っかかってしまったなど困った時は作業療法士がすぐに対応しますので、日頃、あまり手を動かさない方でも安心して作品作りに集中できます。革やメタリックヤーンなどを使った素敵な作品がどんどん完成しています。



今年10月の開設にむけて、記録作りも楽しく続けられています。玄関側の壁にある実物もぜひご覧下さい。



### 異動になりました

理学療法士 深津 慎一  
約4年間大変お世話になりました。国立あおやぎ苑(立川)に異動することになりましたが、これからも変わらず、元気に頑張っていきたいと思っております。どうもありがとうございました。

### 新入職員紹介

妹尾 福子 (音楽療法士・介護福祉士)  
2月に入職致しました。リハビリテーション課で、リハビリ助手をさせて頂いています。また音楽療法の時間や、STによる「歌の会」にも参加させて頂いています。音楽の力を使って、ご利用者の心身の健康増進を目指し、精一杯努めて参りたいと思います。



## 私のふるさと自慢

今回は私の生まれたあきる野市の紹介です。あきる野市は、私が中学生の頃、秋川市と五日市町が合併してきた市で、東京都とは思えない、とよく言われるほど自然の多いところです。

春は秋川渓谷の国際マス釣場で釣りやマスのつかみどりができ、川原でバーベキューをすることができます。

夏は、一番有名な「東京サマーランド」。プールが有名な遊園地ですが、私はその中にある会場で成人式を行いました。楽しい思い出



がいっぱいの場所です！

秋には「二宮のしょうが祭り」もよく知られています。毎年9月9日に行われるのですが、神社の境内で厄除けのしょうががたくさん売られます。葉がついたままのしょうがは、市外の方にはとても珍しいようです。温泉もいくつか出ているので、冬ものんびりと過ごせます。

五日市線は本数が少なく不便と感じるかもしれませんが、圏央道の開通により行きやすい場所になりました。どの季節も遊ぶところがたくさんありますので、ぜひ一度いらしてください！

リハビリ助手 吉田瑠美